

令和6年度 音楽科 授業改善推進プラン

大田区立小池小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・コロナ禍で制限があった歌唱や器楽の一部の学習内容について、スパイラル形式で学習することで、音楽的な技能面の基礎・基本の定着につながった。
- ・こどもが目指したい歌声を考えて学習活動に取り組むことで、自然で無理のない歌い方を美しいと感じたり、友達の歌声のよさを感じたりしながら歌えるようになってきた。
- ・音楽の共通事項について、視聴覚教材を活用したり、共通の音楽用語を用いて学習を積み重ねたりしたことで、音楽的な見方・考え方を働かせながら、友達と協働的に音楽活動するようになってきている。

(2) 課題

- ・正しいリズム感、音程感を身に付けることができるよう、リズム遊びやふし遊びを取り入れながら、主体的・協働的に取り組めるようにする。
- ・自分の思いや意図をもって歌ったり演奏したりすることを大切にしつつ、音楽的な感性をより高めていくために、学習形態の工夫によって、児童が主体的・協働的に学習活動に取り組むことができるようにする。
- ・演奏技能に個人差があり、どのこどもも技能の定着を図ることができるよう、スモールステップで学習課題を用意したり、個に応じた成長を認めたりしながら学習を積み重ねていくようにする。

2 授業改善のポイント（観点別）

(1) 低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
○リズム遊びやふし遊びを積極的に取り入れ、正しいリズム感、音程感を身に付けられるようにする。 ○個に応じて繰り返し練習したり、こども同士で教え合う場面を増やしたりすることで、正しいリズム唱、リズム打ちが定着するようにする。	○遊びの中からリズムに興味をもたせ、体で表現し、音楽表現の楽しさに気付かせるようにする。 ○音楽の要素を掲示したり、視聴覚教材を活用したりすることで、曲のよさを味わいながら聴けるようにする。	○体を使ったリズム学習を取り入れ、楽しんで取り組めるようにする。 ○階名で模唱したり、学習課題によってペア学習やグループ学習を取り入れたりとすることで、音楽活動を楽しみ、興味をもてるようにする。

(2) 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
○視聴覚教材を活用して分かりやすく掲示したり、反復練習をしたりすることで、読譜力を身に付け、音符、休符の名前や意味、共通事項の内容を理解できるようにする。 ○表現活動において、こども同士で教え合う場を増やしたり、スモールステップで課題に取り組んだりすることで、基本的な技能を身に付けることができるようにする。	○声づくりに相応しい楽曲を精選することで、自然で無理のない歌い方が美しいと感じられるようにする。 ○視聴覚教材を活用したり、共通の音楽用語を用いて学習を積み重ねたりすることで、自分の思いをもって活動できるようにする。	○反復学習により、自信をもって演奏できるようにする。 ○歌い方や演奏の仕方について自分の考えをもち、ペア学習やグループ学習から友達のよさを感じ取りながら主体的、協働的に学習に取り組む態度を養う。

(3) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
○表現や鑑賞において、知覚・感受する力を深めるために、板書やワークシート、視聴覚教材の活用、身体表現などを用いて学習し、知識の定着を図る。 ○表現活動において、こども同士で教え合う場を増やしたり、スモールステップで課題に取り組んだりすることで、個に応じて技能が定着するようにする。	○グループ活動や意見共有の場を設定し、自分の思いをもち、こども同士の交流を通して表現力を高めていけるようにする。	○演奏技能の習熟レベルに応じて学習課題を複数用意し、主体的・協働的に取り組めるようにする。 ○歌い方や演奏の仕方について自分の考えをもち、ペア学習やグループ学習から友達のよさを感じ取りながら主体的、協働的に学習に取り組む態度を養う。